

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2018年11月

クリスマスであふれる街中

11月に入ると、そこかしこでクリスマス風の装飾を見かけ、クリスマスソングが流れ、プレゼントを当て込んだ商戦が盛んになってきます。雑誌も広告もテレビも、日に日にクリスマス一色になっていきます。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

クリスマスに関する「お話」を聞いたことがあるでしょうか。馬小屋に寝かされている赤ちゃんのこともだったり、たくさんの天使が現れて歌を歌っている様子だったり、その他クリスマスにまつわるエピソードだったり。小説や絵本として創作された文学作品、世界のどこかの地方に伝わる昔話もあるでしょう。

クリスマスは「お伽噺」じゃない

日本で行われる年中行事には、いろんな「謂(いわ)れ」があるものです。七夕の織姫彦星、出雲の神様会議、地獄の釜が開いて先祖がやってくるお盆、法要の謂れ、七五三の由来、厄祓いの儀式などなど。それらは、「物語」「昔話」「お伽噺(おとぎばなし)」「神話」「伝統」「習慣」として捉えられていて、「事実」「真実」としてまともに信じて受け取っている人は少ないのではないのでしょうか。仏教諸派や神道や土着の習俗が入り乱れて互いに矛盾する話も多いのですから、真剣に考え始めてしまうと悩ましいはずです。

でもクリスマスの出来事は、「お伽噺」ではありません。人類の歴史上に実際にあった事実で、現在にも大きな影響を及ぼしている真実なのです。

きょうダビデの町に、あなたがたのために救主(すくいぬし)がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。

(新約聖書 ルカによる福音書 第2章11節)

普段の生活に追われていると、「私はなぜ生きているのか」「生きる目的は何か」「死後の世界は」などについて意識することは多くはありません。親しかった方が突然亡くなったり自分が余命宣告を受けたりした時に、いきなり眼前に突き付けられる問いだと感じるのですが、日常生活を送る際にはそんなことを考えたり気にしたりする機会が無いのです。

イエス・キリストは人類の歴史の中に人間として生まれ、成長し、十字架刑により殺され、3日目に死人



の中からよみがえりました。それによって信じる人々が「本当の神様」を知り、救いに入ることができるようにして下さいました。聖書を読んで、あるいはキリスト教会でお話を聞いて、「歴史的事実としてのクリスマス」「あなたに対する神様の計画と約束」を知りませんか。あなたには、現在生きている理由と意味があるのです。それを知らずに、本当の神様に目を向けることをせずに生涯を終えてしまうのは、非常に残念な事なのです。

クリスマスは、あなたに直接関係する出来事です。たとい家族とか友人とかプレゼントとか無縁であったとしても。イエス・キリストの救いを受けることこそが、「本当のプレゼント」なのです。今年のクリスマスを機に、それを受け取ってみませんか。実在する本当の神様の愛を、受け取る機会としてみませんか。

祈ってみましょう

クリスマスが、わたし自身に関係があることだなんて、考えたこともありませんでした。イエス・キリストが生まれたこと、十字架にかかって死んだことが本当で、現在の私に関係するすごい出来事だなんて、ピンと来ません。でも、それがわかったら良いなって思います。本当の神様とか救い主とかがいるんだったら、知りたいです。ハッキリわかるように、助けて下さい。



クリスマス集会のご案内

クリスマス礼拝 12月23日(日・祝) 10:30~12:00

キャンドル礼拝 12月24日(月・振休) 19:00~20:30

それぞれ参加自由、入場無料です。自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、する・しないも、金額も、各自の自由です。その他ご希望があれば、神様について、イエス・キリストについて、聖書について、ご説明するお時間を取ります。お申し出下さい。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりできます。



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線 14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14条西 17丁目下車
駐車スペース有

